

66

275  
P  
277

版權  
許覽

小學初等科

岸田吉

作文書

藤岡文華堂藏

K110.83  
120  
2

岩谷文華堂  
初等科作文書  
一二册  
16

緒言

此書ハ大阪府頒布ノ小學校教則  
基キ初等科作文ノ例ヲ記載ス其意  
傳テ生徒ヲシテ毛穎脱帽ノ勞ヲ省  
カシメント欲スルニ在リ故ニ授業  
ノ法方ハ畧シテ之ヲ記サス初等科  
ニ従事スル生徒此書ニ就テ習練常  
ニ怠ラサレハ度幾ハ少補ナクシハ  
アラスト云々

明治十六年五月

編者誌

第二課

年始の文

初春の山吹

雪のふり

用文  
初春の山吹  
雪のふり  
梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

梅のつぼみ

同答

可統

此方の中を拝し仰ぐ作の  
おとく新玉うぬるはるれ  
と壽子ととも同くうら  
にむむのしつゆくお掛  
清やうらむの折しあて  
交ぬよりしつゆく縁ん  
もりのゆあしつゆん  
ふまわしきひまのうらむ  
中あやうく目出さく  
し

暑中氷ヲ贈ル文

時をくわやぬら結此外

あるはるむとて清くうらむ  
は玉葉子とそむる方より  
喜ひしむる暑中とそむる  
あやうく目出さく

婚姻祝儀文

一筆やうらむしつゆくお掛  
礼首尾よくと懸折しむ  
杖翁家とあて交ぬりし  
さやうらむしつゆくお掛  
り軟のやうとそむる  
系とそむる目出さく

同答

以女系持りし地を奪り  
三友元縁絶するは是尾  
よくお調ね入りし趣もや  
を縁候とて去りし物下  
さるゑも業久しく縁納  
りしに於ておんものよ乳  
中よ癒くためてとし

温泉ヨリ歸ル人ニ與フル文

お根根温湯の紙一紙  
お湯もお水もお湯も  
お湯もよお湯も持し  
お湯もよお湯も持し

よみやまもとて末女一湯  
お神工おと送る下巻  
お湯もよお湯も持し  
お湯もよお湯も持し

劇場見物ヲ誘フ文

ちよとて女一とて中より  
て中中の芝居お宝仕組  
お湯もよお湯も持し  
お湯もよお湯も持し

まのせしと

佛事ニ招ク文

一筆中よりしとての明十  
日々祖父又十回忌祥月  
不ありるまは法子の言ふ  
りしにふりしとてから午あ  
十一時とらふりしとて  
れやう然よりしと

同答

清女のやう極め入りの  
ハ祖父様と法子の明の  
勤めたりしとて

やう赤あふりしとて  
ちうら推年一袋の佛  
心極めたりしとて  
りしと

借物ヲ戻ス文

あして中よりしとて  
切あるとては  
貸し下されしとて  
高き都合ありしとて  
りしとて  
は後下されしとて

紅葉狩ノ文

一筆中より一筆まで時  
もそひ本とのおぼえは  
縁を補うにあやまたれお  
もくもくはりんとのあま  
をいひあはては健ひやま  
存まのりそんりかつた  
まらひりし

火事見舞ノ文

吾等もみくそ中より  
お前もそえとぬらそ  
あてそそくは  
らんそそ

とそあつそくあつま  
我もおそくまそそ  
あてそそくは  
らんそそ

月見ノ會ヲ催ス文

あつそそくあつま  
おそそくあつま  
くそそくあつま  
あつそそくあつま  
あつそそくあつま  
あつそそくあつま  
あつそそくあつま

ねえ待入り〜

醫師ヲ頼ム文

を母多クおぼやうり風  
の〜と申してま〜  
〜を頼りあけし  
〜おぼやうり  
〜おぼやうり  
〜おぼやうり

病氣見舞ノ文

〜おぼやうり  
〜おぼやうり

おみ〜おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり

草狩ヲ催ス文

おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり  
おぼやうり





しれどもくはひ〜さるる  
ふき産ま〜まの〜さ  
るん〜くはひ〜めと交  
存り〜さるる〜さ  
何よりの一〜あはれり〜さ  
り〜れ布〜さるる〜り  
先〜さ返〜さるる〜り  
り〜し

仕立物ヲ頼ム文

一寸さみ〜して中〜らり〜  
比〜らたのみ中〜あひ〜縫物  
うち〜解〜さるる〜さるる〜

下綿緬の少〜さるる〜さ  
くは立下〜さるる〜さ  
さるる〜さるる〜さ

同答

汗〜さるる〜さるる〜さ  
ぬ〜は〜さるる〜さるる〜さ  
通り〜さるる〜さるる〜さ  
不知〜さるる〜さるる〜さ  
中〜さるる〜さるる〜さ  
り〜さるる〜さるる〜さ  
産〜さるる〜さるる〜さ  
清〜さるる〜さるる〜さ

新古今和歌集

竹文書

卷之十一

終



明治十六年九月廿五日  
全 十六年十月十二日  
全 年十月廿日  
御願  
版權免許  
出版

編輯人

大阪府平民

岸田吉興

大和國葛下郡竹森村  
四十八番地

出版人

大阪府平民

藤田伊三郎

大和國高市郡八木村二  
百廿四番地